



は 初・N・E・T

初台リハビリテーション病院

URL <http://www.hatsudai-reha.or.jp>

2006
夏季号

編集・発行／医療法人 舞生会 初台リハビリテーション病院 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3 TEL.03-5385-8500

平成18年8月7日（通巻第11号）

巻頭特集 訪問看護ステーション初台

訪問看護ステーション初台が開設し、4年目を迎えました。

皆様が元気に暮らせるために、心のこもったお手伝いをさせていただきます。

訪問看護ステーション初台は、初台リハビリテーション病院すぐそばのコンビニの2階にあり、看護・リハビリ・事務スタッフが働いています。この情報誌をご覧になった方の中にも、当ステーションを利用していたでいる方もいらっしゃるのではないでしょうか。

訪問エリアは、渋谷区、新宿区、中野区、杉並区、世田谷区、目黒区（一部の地域）で、主に自転車、バイクで訪問しています。

最近では駐車規則も厳しくなりました。訪問中の駐車によって、皆様にご迷惑のかからないように今後も気をつけていきたいと思っています。訪問道中の商店街ではおいしそうな匂いについ鼻をクンクンさせたり、炎天下の日にはほとぼしる汗をぬぐいながら、また大雨や風の強い日に

は必死な思いで訪問先に向かいます。近道を発見するとちょっぴりうれしい気持ちにもなりますが、初めて何う訪問先に出かけるときは、道に迷ったり多少のハプニングも…。季節の移り変わりを肌で感じ、道中ささやかに楽しみながら日々頑張っています。

さて、私たちが提供するサービス内容は、訪問看護では健康管理・排便コントロール・入浴介助。訪問リハビリでは、その方の生活状況や身体状況に合わせたリハビリテーション、生活環境の調整などを行っています。看護スタッフ、リハビリスタッ

フはそれぞれ情報を共有し、相談しながら、利用者様やご家族の皆様が少しでも安心して快適に暮らせようにサポートをしています。

私たちが目標にしているのは、利用者様に“来てもらってよかった”と思っていただけるようなサービスの提供を行うことです。訪問を待っていてくださる皆様のご期待に応えられるよう、これからもお役に立て、求められるステーションでありたいと思っています。

訪問看護ステーション初台

看護師 山子 輝子



夏季号

ラインナップ!!

2P 失語症ってなに

薬剤科メールvol.8
ワーファリンと納豆

3P 納涼祭のお知らせ

本の紹介
～リハビリテーション～
新しい生き方を創る医学

4P “好評連載!” 部署紹介 vol.8

SW(ソーシャルワーク)部門
バドミントンサークル
あとがき

失語症ってなに？

言語聴覚士 菅原 明菜 ・ 山田 和紗

失語症とは、大脳の左半球にある言語中枢が脳卒中や交通事故などで傷つくことによって起こります。その結果、聞く、読む、話す、書くということが難しくなります。

失語症に認知症が合併することもあるため、混同されることがありますが、失語症と認知症は全く別の障害です。脳が傷ついた場所や広がりによっても違いがありますが、失語症の方は物事を判断する力や記憶・お人柄は失語症になる前と変わりません。

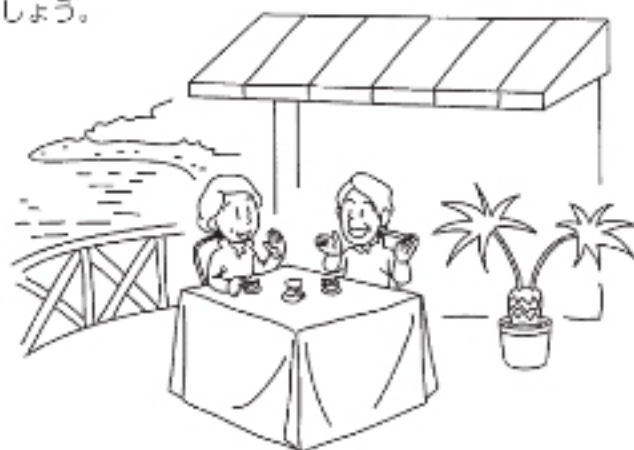
失語症の方は、誰かと話したいと思っても、言いたい言葉が出てこないためにうまく伝わらなかったり、もどかしい気持ちになったりします。周りの人が、ご本人の様子から「話したい」「伝えたい」という気持ちを察し、

コミュニケーションの援助をしながら接することが大切です。

失語症の方と上手にコミュニケーションをとるためにはいくつかのポイントがあります。

- ① ゆっくり、はっきりと話す
- ② 短く、分かりやすい言葉で話す
- ③ 急に話題を変えない
- ④ 「はい」「いいえ」で答えられる質問をする
- ⑤ 表情や身振りを添えて話す
- ⑥ 写真や地図、カレンダーなど見てわかるものを使う

失語症の症状には個人差があり、一人一人に合った対応が必要です。上に書いたようなことを心がけながら、一人一人に合った接し方でコミュニケーションを楽しみましょう。



■ 表：失語症の症状

理解	聞く	・ 言われている事がわからない ・ 一度にたくさん話されるとわからない
	読む	・ 読んで理解する事が難しい （特に漢字よりも仮名が難しい） ・ 読めても意味が分からないことがある
表出	話す	・ 言いたい言葉が浮かんでこない ・ 伝えたい事があっても上手く言葉に出来ない ・ 思っていることと違う言葉が出てくる ・ 前に言った言葉が続いて出てしまう
	書く	・ 文字を思い出せない。仮名が特に難しい ・ 間違った字を書いてしまう

薬剤科メール
vol.8

ワーファリンと納豆

ワーファリンを内服している方は、納豆を食べてはいけないと言われます。心臓や血管の病気のある人で、血液が固まりやすい状態になることがあります。それを防ぐ為に、ワーファリンという血液を固まりにくくするお薬を使うことがあります。ワーファリンはビタミンKによって効果が減弱するため、ビタミンKを多く含む食材には注意が必要です。納豆に含まれる納豆菌は、腸内でビタミンKを合成するため、納豆を摂るとワーフ

ァリンの効果が減弱します。そのため、納豆は原則禁止とされているのです。納豆のほかに、ビタミンKを多く含むクロレラや青汁も原則禁止となりますが、ほうれん草やパセリなどの緑黄色野菜は、連日大量に摂取しなければあまり問題になりません。

ワーファリンは食事のほかに飲み合わせの薬とも相互作用が多いので、詳細は医師、または薬剤師にご相談下さい。

薬剤科 植竹 由佳

納涼祭 2006開催のお知らせ

8月20日（日）17：30 開場

当院 1.2階にて納涼祭を開催します。

暑い中皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年も納涼祭の季節がやってまいりました。患者さま、ご家族の皆様で楽しい夏のお祭りを楽しんでください。



各スタッフが一ヶ月以上前から、心のもったお祭りを旨指し準備してお待ちしております。

納涼祭2006実行委員会



上田 敏「リハビリテーション — 新しい生き方を創る医学」

今回は、私が学生時代に会った一冊をご紹介します。

本書はリハビリテーション医学の入門書ともいえる構成になっており、医療関係者だけではなく、患者さまやご家族さまにも十分わかりやすく書かれているのが特徴です（学生だった私が理解できたのですから皆様が読まれても大丈夫なはず）。そもそもリハビリテーションとは何なのかを理解するためにおすすめかと思ひます。

著者の上田氏は医師であり、脳卒中などの神経系疾患が専門で、わが国におけるリハビリテーション医学のパイオニアの一人です。東大教授、東大病院リハビリテーション部部長などを歴任され、現在は日本障害者リハビリテーション協会顧問などをしてされています。

現代のリハビリテーションは、障害があっても、残っている健全な心身の機能をとことん伸ばし、それを新しい能力にまで高め、一人の自立した人間としての新しい生活の確立を目指すものと紹介しています。また、さらに踏み込んだ内容として、神経の再生や脳機能の再編成、あるいは心の立ち直りなどに関する知見を応用し、人間の全面的な回復を図ろうとする（著者はこれを「全人的復権」と記しています）リハビリテーション医学の姿について触れられています。

発刊から10年経ちますが、いまなおわれわれに刺激を与え続けている一冊です。

ソーシャルワーカー 木島 貴宏



講談社ブルーバックス、1996年。

好評連載 各部署紹介

第8回＜SW(ソーシャルワーク)部門＞

今回はSW(ソーシャルワーク)部門のご紹介をさせていただきます。

当院を利用される患者様は病気に悩まれて間もない方が多く、今後の生活をどうしていいかと悩まれている方も多くいらっしゃいます。ソーシャルワーカー(以下、SWと略します)は、社会福祉の立場から相談を通して、患者様やご家族様と一緒に解決方法を探るお手伝いを専門に行なっています。当院には現在11名のSWがおります。

当院では、介護保険や身体障害者手帳といった制度を利用される方が

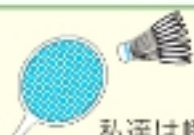
多くいらっしゃいます。これら制度が適切に利用できるようなお手伝いしていくことも、SWの仕事です。また、入院中にご退院に向けての準備も一緒に整えていきます。

外来通院されている方のご相談は、外来担当SWが対応させていただきます。退院後の引き続きのご相談や、復職に向けてのご相談なども行なっております。



SW一同、一人ひとりの患者様に適したお手伝いができるよう心がけております。お気軽にお声掛けください。

SW(ソーシャルワーク)部門
ソーシャルワーカー主任 江尻 和貴



今回はバドミントンサークルの紹介です。

私達は鶴ヶ谷にある渋谷区スポーツセンターを利用して毎月2回程度サークル活動を行っています。このサークルは当院開設当初から発足しており主に金曜日の夕方18時から約4時間、経験者から初心者まで年齢・職種に関係なく幅広い層のスタッフで汗を流しております。また、スタッフの家族や友人達も集まって楽しく活動しています。活動内容は基礎となるストレッチから始まりフットワークそして思う存分シャトルを打ち込みます。また、私達スタッフの体力・技術の向上はもとより、渋谷区スポーツセンターを利用している地域の方々との情報交換や親睦を深める良い機会にもなっています。

このスポーツは全身の筋力・体力を要する競技で、普段使い慣れ

ない筋肉を使うため、翌日の朝、筋肉痛で起き上がれないこともしばしば……(笑)。しかしそんなことは気にせず日頃のストレスを発散するかのよう、激しくシャトルを打ち込む者、また夏に向けてダイエットに取り込む絶好の機会を逃すまいとする者など、皆楽しく爽やかな汗を流しています。一昨年は渋谷区主催の大会に参加し好成績を収め、秋には伊豆へ川沿いの紅葉付き露天風呂&猪蹄・海鮮丼を楽しむ1泊2日の合宿も行い、さらに仲間意識が強まる良い機会となりました。

いつでも誰でも気軽に集まり、一緒にスポーツを楽しめる仲間を探していきたいです。今後もバドミントンサークルをどうぞ宜しくお願いします。

4期副団長 石渡 昭 山本 暁



前号新緑号にて初NETアンケートにご協力いただきありがとうございました。この数々のご意見を今後の初NETに活かし、皆様とともによりよい情報誌にしていきたいと思っています。アンケートは終了しましたが、各号でご意見のある方は、お気軽に各スタッフにお声掛けください。

編集部一同

あ と が き

今年も恒例の納涼祭を8月20日(日)に行います。楽しみにしててください。夏場はどうしても汗をかいて脱水症状になりやすいので、こまめに水分摂取をしましょう。次回は秋に発行予定です。

理学療法士 廣瀬 聖一郎